

10. 「日本の伝統芸能と最近のシェイクスピア劇上演」、『武蔵野短期大学研究紀要』第 6 輯、
武蔵野短期大学、平成 4 年 6 月、ISSN:0288-8025

123-129 頁

最近のシェイクスピア劇上演に注目し、翻案上演の可能性と問題点について、特に狂言・能・歌舞伎への翻案を中心に論じた。伝統芸能のドラマツルギーと西洋演劇のドラマツルギーをどのように考えるか、実際の上演ではどのようなスタイルが可能なのか、実際の上演を見た劇評を含めて論じた。この論文により、明治時代の翻案上演を再現したいわゆる復活上演と現代の翻案上演とでは、意味がまったくことなることを明らかにした。現在の翻案上演が異文化理解の上に成り立っているものであり、演劇交流（文化交流）になっていることを論じた。(B5)